



設置される強震計  
(左上:処理部、左下:計測部)と  
津波計(右上:設置イメージ、右下:センサ)

## フィリピン向け地震計・潮位計を初受注！

日本電気株式会社様より、フィリピン共和国フィリピン火山・地震研究所「広域防災システム整備計画」向けの観測機器を受注いたしました。明星電気としてフィリピン向けの地震・津波用観測機器の納入は初めてになります。

観測機器は、フィリピン全域で強震計を約40か所、潮位計は約20か所に設置されます。広域防災システムは、これらの観測機器で観測されたデータをリアルタイムに衛星通信を介してフィリピン火山・地震研究所のサーバに集約し、地震や津波を検知した際は関係省庁へ情報配信します。明星電気は強震計、潮位計を供給します。

フィリピンは昨年台風により深刻な被害を受けました。明星電気の観測機器が地震・津波の早期検知や、さらに火山噴火の予測にも活用され、フィリピン全土の減災活動に大きな役割を果たすこととなります。

(当社営業担当:グローバル戦略グループ 高木 誠一)



右:電源シェルタ、中央:通信シェルタ  
奥:管制シェルタと昇降設備



昇降機を下した状態の管制シェルタ

## 非常用管制塔装置(EVA-05B型)を大阪国際空港へ納入！

今年度、国土交通省航空局様と契約した非常用管制塔装置(EVA-05B型)を、3月18日夜間に大阪国際空港に納入いたしました。

非常用管制塔装置は、電源シェルタ、通信シェルタ、管制シェルタと昇降設備で構成される常設の航空管制システムが不測の事態に陥ったとき、その代替手段として使われます。東京国際空港に初号機(EVA-05型)、福岡空港に二号機(EVA-05A型)を納入し、今回が三号機となります。

初号機は、仙台空港被災時に現地に搬入され、復旧に貢献しました。

非常用管制塔装置の納入作業はクレーン車が必要で、今回は初めての夜間作業の為、作業内容・作業環境共に注意を要する作業でした。

明星電気は仙台空港被災時の対応経験も含めて、これまで培ったノウハウを活かし、引き続き本装置の発展に貢献していきます。

(当社営業担当:気象・防災・制御グループ 古賀 健一郎)



講演する当社社員

## 金沢大学様の宇宙理工学セミナーで講演

金沢大学様で開催(2月19日)された宇宙理工学セミナーにおいて、当社が開発した超小型衛星「WE WISH」について講演させていただく機会を得ました。

平成26年度政府予算で、金沢大学様の『手作り人工衛星による先端宇宙理工学教育プログラムの構築』プロジェクトが支援されることになりました。金沢大学様では、今後、博士前期・博士後期向けに宇宙理工学コースを設置し、大学主導の超小型衛星開発を通して、先端的職業人の育成に向けた教育を実施する予定とのことです。今回のセミナーでは、「WE WISH」開発の経験談を学生の皆様に紹介させていただきました。

明星電気は、今後も本プロジェクトに協力させていただくと共に、産学共同で日本の宇宙開発に貢献していきます。

(当社営業担当:宇宙・防衛グループ 永峰 健太)

明星電気の活動をご紹介します。

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し  
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。